



松柏中学校アーカイブ通信 第33号 2025年1月21日発行

きらめきタイム「アーカイブコース」責任者：山村 好克  
(タイトルの背景は旧校舎)

## 特色ある松柏中の取組「一人一研究発表会」(その2)

### 松柏中の発明王、自動車を自作する！

通信第14号で紹介した自動車を製作した松中生の続編です。校長室で7月に見付けた数枚の写真。自作らしい自動車の写真が数枚と、台紙には「生徒一人一研究」「中学時代1年生掲載」とマジックで書かれたのみで、いつの写真なのか分かりませんでした。旺文社の教育月刊誌「中1時代」(正式名称はこちら)の刊行スタートが1956年ですが、この写真が掲載されたのが何年の何月号かも分からず、迷宮入りの状態でした。



ところが、松柏中学校の近所に住んでおられるKさん(1964年度卒)がこんな証言をされたのです。「私よりも2つ上の先輩が、自動車を作って、運動場で走らせていた。自動車部だったかなあ?」と。

自動車部というのははっきりしませんが、1962年度卒の生徒がこの自動車を製作したのではないかと思ひ、「科捜研」です。すると出てきました。当時の新聞にこの自作自動車の記事がありました。

1962年7月27日付「愛媛新聞」、同日「八幡浜新聞」、同日「八幡浜民報」。7月28日付「朝日新聞」愛媛版、同日「毎日新聞」愛媛版等で紹介されています。左上の写真は「愛媛新聞」の記事からのものです。

松柏中生が豆自動車

時速70キロの優秀車?

学校に残っていた11枚の写真に写っているドライバーは眼鏡をかけていません(上の写真)が、新聞報道された1962年のものでは眼鏡をかけています。また、車の車体にかかっているカバーデザインが異なっていたり、ランプの形状も違います。従って、学校に残っていた写真に写る自動車は1960年か1961年の「初代」のもので、ドライバーは中1か中2のときであると判断しました。この2年間に絞って、「中1時代」を探していけたらと思います。どなたかお持ちの方はおられませんか。

### スポーツ・カーつくる 松柏中の少年発明家

新聞の見出しです。上が「八幡浜新聞」で左が「八幡浜民報」です。

では、新聞記事から分かったことを紹介します。

発明家は駅前の古田吉雄君(1962年度卒)です。

- 小学生時代から機械いじりが好きだった。
- 中学校に入ると、自動車づくりを計画し、貯金を始めた。
- 今回の自動車は第2号。愛宕中3年の渡邊豪男君、山中康誠君が協力した。
- 2年生のときは自動オルガンを製作した。



- 小型4輪自動車は、125ccのスクーターのエンジンを600円で購入。その他の部品を寄せ集めて、合計4,500円で完成した。
- 全長2m、幅1m、重さ150kg。車体はベニヤで赤と白のツートンカラー。
- 7月25日、試走をしたいと八幡浜警察署へ許可を願い出たが、県陸運局の車体検査を受けないと難しいことや、軽自動車運転免許資格が16歳からということで、認められなかった。
- 「発明王」は3年時にうそ発見器も発明している。(写真左 8月31日付「新愛媛」の記事)

次号は2年生「少年の日」 記念行事について紹介します。